

環境保全のための我孫子市率先行動計画
我孫子市地球温暖化対策実行計画

あびこエコ・プロジェクト5

2023（令和5）年度温室効果ガス排出量等調査結果報告書

2024（令和6）年12月

我孫子市

目次

温室効果ガス総排出量の削減.....	1
法律改正による地球温暖化係数等の変更について.....	2
1 温室効果ガス総排出量の状況.....	3
2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況.....	4
(1) 施設利用に伴う燃料.....	4
(2) 自動車利用に伴う燃料.....	8
(3) 電気使用量.....	11
(4) 一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理.....	12
3 施設別の温室効果ガス排出量の状況.....	13
4 使用量の状況.....	15
(1) 施設及び自動車における燃料使用量.....	15
(2) 電気使用量.....	15
環境への負荷の低減.....	16
1 市の事務事業（自動車の利用）.....	17
(1) 排気ガスによる負荷の低減に係る状況.....	17
2 市の事務事業（施設の利用）.....	18
(1) ごみの減量・リサイクルの推進に係る状況.....	18
(2) 水の適正な利用に係る状況.....	21
(3) 再生可能エネルギー導入に係る状況.....	22
3 自然の利用.....	23
(1) 緑の損失等による影響の低減（生き物との共存）に係る状況.....	23
市民・事業者の環境に配慮した行動の促進.....	25
1 一般廃棄物焼却量（前掲のとおり）.....	26
2 補助事業の交付状況.....	26
3 ノーカーダー実施率.....	31

温室効果ガス総排出量の削減

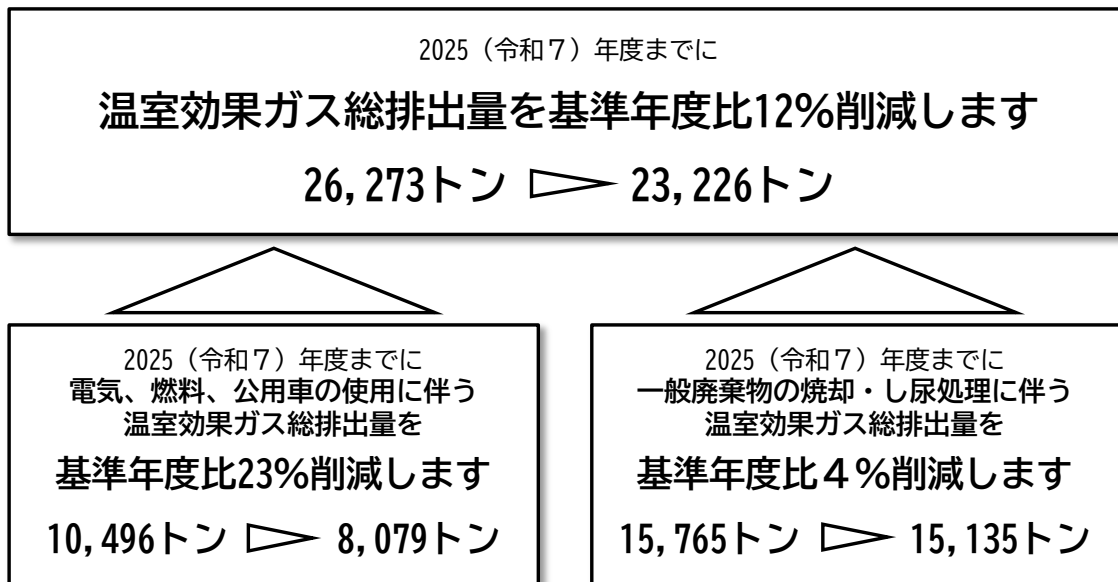
～ 地球温暖化対策実行計画の推進 ～

我孫子市（以下、「本市」という。）では、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を2001（平成13）年度に策定し、2021（令和3）年度から第五次計画に移行し、取り組みを継続実行しています。

しかし、計画期間中に国の地球温暖化対策計画の改定が閣議決定され、「2030年度までの温室効果ガス排出量の削減目標について2013年度比26%から46%」に変更されました。このため、本市は目標値等の整合をとるべく、2024（令和6）年3月にあびこエコ・プロジェクト5を改定しました。

- 第一次計画（計画期間：2001（平成13）年度～2005（平成17）年度）
- 第二次計画（計画期間：2006（平成18）年度～2010（平成22）年度）
- 第三次計画（計画期間：2011（平成23）年度～2015（平成27）年度）
- 第四次計画（計画期間：2016（平成28）年度～2020（令和2）年度）
- 第五次計画（計画期間：2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）においては、電気・燃料等の使用量、廃棄物焼却量等について集計し、本市が直接実施する事務・事業から排出される温室効果ガス排出量を毎年公表しています。



出典：「あびこエコ・プロジェクト5 改定版」における本市の削減目標

図1 温室効果ガス総排出量の削減に係る目標

法律改正による地球温暖化係数等の変更について

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の基となる「地球温暖化対策の推進に関する法律」について、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令の一部を改正する政令（令和5年政令第272号）」が2023（令和5）年9月1日に公布され、2024（令和6）年4月1日に施行されました。この改正により、地球温暖化係数の変更や都市ガスにおける事業者別係数が導入されました。

このことを受け、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）においても2023（令和5）年度実績より下記の通り改正後の地球温暖化係数等を用い温室効果ガス排出量を算定します。また、改正前の地球温暖化係数等を用いた温室効果ガス排出量についても算定し、参考値としています。

表1 地球温暖化係数の変更

温室効果ガスである物質	地球温暖化係数 (改正前)	地球温暖化係数 (改正後)
二酸化炭素	1	1
メタン	25	28
一酸化二窒素	298	265
ハイドロフルオロカーボン	12~14,800	4~12,400
パーフルオロカーボン	7,390~17,340	6,630~11,100
六ふっ化硫黄	22,800	23,500
三ふっ化窒素	17,200	16,100

表2 算定に用いる排出係数の変更

項目	単位	2023（令和5）年度 排出係数（改正前）	2023（令和5）年度 排出係数（改正後）
都市ガス	kg-CO ₂ /m ³	2.23	2.05 ※代替値（省令の排出係数）

1 温室効果ガス総排出量の状況

2023（令和5）年度の温室効果ガス排出量は、26,076 t-CO₂となり、基準年度から0.7%減少となりました。内訳としては、電気、燃料、公用車の使用に伴う温室効果ガス排出量が17.3%の減少、総排出量の約6割強を占めるごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量が10.6%の増加となっています。

表3 温室効果ガス総排出量の状況

区分	単位	第五次計画						
		基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	参考値 2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	26,273	26,506	24,574	26,076	26,300	-0.7%	23,226
電気、燃料、公用車の 使用に伴う温室効果ガス	t-CO ₂	10,508	10,006	9,950	8,688	8,852	-17.3%	8,091
燃料の使用(施設)	t-CO ₂	2,174	2,238	2,570	2,141	2,304	-1.5%	1,673
燃料の使用(自動車)	t-CO ₂	320	283	305	318	318	-0.6%	246
電気の使用	t-CO ₂	8,002	7,475	7,064	6,219	6,219	-22.3%	6,160
その他	t-CO ₂	12	11	11	10	11	-16.7%	12
ごみの焼却	t-CO ₂	15,435	16,177	14,301	17,072	17,126	+10.6%	14,818
し尿処理	t-CO ₂	330	323	323	316	322	-4.2%	317
対前年増減量	t-CO ₂	—	—	-1,933	1,502	1,726	+5.7%	—
対基準年累積増減量	t-CO ₂	—	233	-1,699	-197	27	-0.7%	-3,047

- 備考) 1 その他：自動車の走行量、HFC
 2 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。
 3 参考値は、法改正前の地球温暖化係数等を用いて算定した数値です。

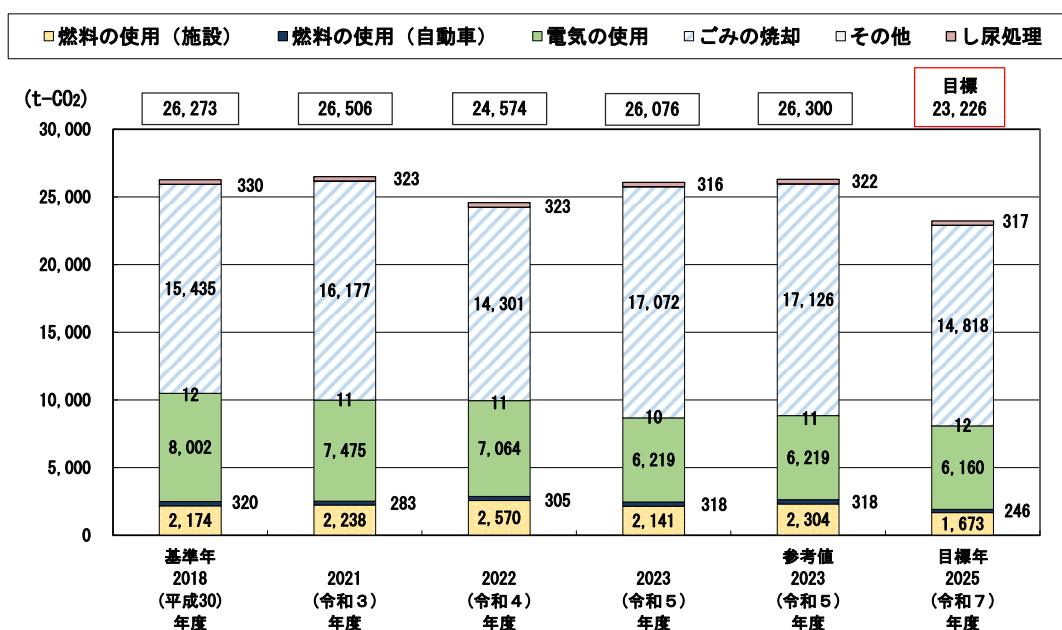


図2 温室効果ガス総排出量の状況

2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況

(1) 施設利用に伴う燃料

施設利用に伴う燃料使用量は、項目ごとに二酸化炭素排出量に換算し、その値の合計値において基準値より23%削減することを目指しています。

2023（令和5）年度における温室効果ガス排出量は2,141,293kg-CO₂であり、基準年度の2,174,178kg-CO₂と比較して32,885kg-CO₂減少しましたが、目標としている23%の削減には至りませんでした。

燃料使用量を各種燃料別にみると、基準年度と比較して灯油、都市ガスの使用量が増加しています。灯油の増加については、クリーンセンターにおいて新廃棄物処理施設へごみの焼却処理が移行したことが要因として挙げられます。

表4 使用量及び温室効果ガス排出量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	参考値 2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ガソリン	23%削減	L	420 (974)	655 (1,520)	616 (1,429)	235 (545)	235 (545)	-44.0% -(44.0%)	323 (749)
軽油	23%削減	L	125 (323)	5 (13)	60 (155)	50 (129)	50 (129)	-60.0% -(60.1%)	96 (249)
灯油	23%削減	L	16,427 (40,893)	19,937 (49,642)	124,169 (309,180)	54,825 (136,514)	54,825 (136,514)	233.7% (233.8%)	12,637 (31,467)
A重油	23%削減	L	37,836 (102,521)	25,917 (70,235)	29,894 (81,013)	35,661 (96,641)	35,661 (96,641)	-5.7% -(5.7%)	29,110 (78,888)
LPガス	23%削減	kg	31,615 (94,845)	9,878 (29,633)	18,332 (54,996)	17,859 (53,577)	17,859 (53,577)	-43.5% -(43.5%)	24,327 (72,982)
都市ガス	23%削減	m ³	865,975 (1,934,622)	935,838 (2,086,918)	952,352 (2,123,464)	904,335 (1,853,887)	904,335 (2,016,667)	4.4% -(4.2%)	667,563 (1,488,665)
温室効果ガス 排出量	23%削減	kg-CO ₂	2,174,178	2,237,961	2,570,236	2,141,293	2,304,073	-1.5%	1,673,000

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂)です。
 3 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。
 4 参考値は、法改正前の地球温暖化係数等を用いて算定した数値です。

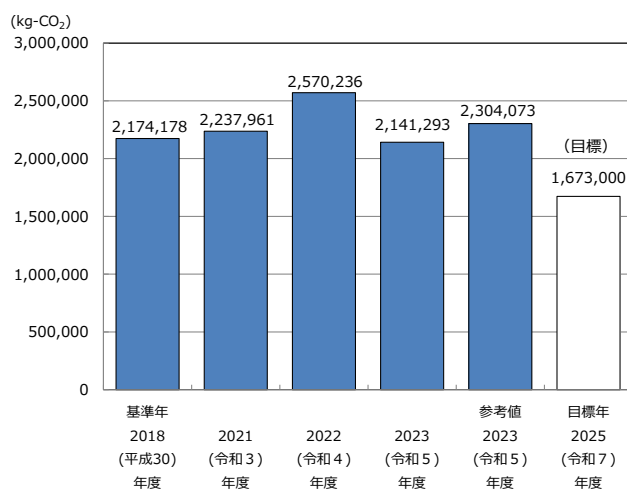


図3 温室効果ガス排出量の状況

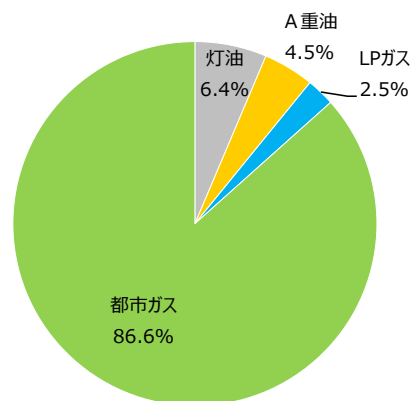


図4 温室効果ガス排出割合の状況

① ガソリンの使用量

2023（令和5）年度のガソリンの使用量は235Lであり、基準年の420Lと比較すると185L、割合にして44.0%減少しました。温室効果ガス排出量は545kg-CO₂であり、基準年の974kg-CO₂と比較して429kg-CO₂減少しました。

目標値（323L）と比較すると、88L（温室効果ガス排出量は204kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

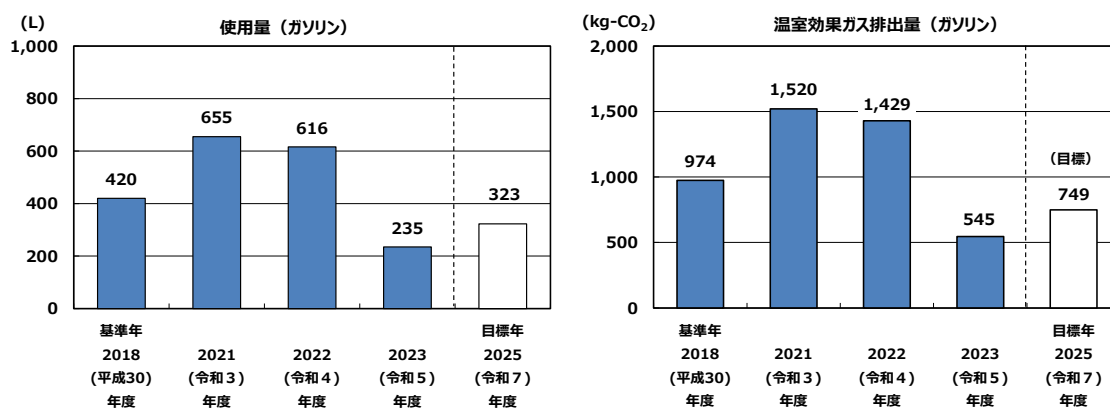


図5 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

② 軽油の使用量

2023（令和5）年度の軽油の使用量は50Lであり、基準年の125Lと比較すると75L、割合にして60.0%減少しました。温室効果ガス排出量は129kg-CO₂であり、基準年の323kg-CO₂と比較して194kg-CO₂減少しました。

目標値（96L）と比較すると、46L（温室効果ガス排出量は120kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

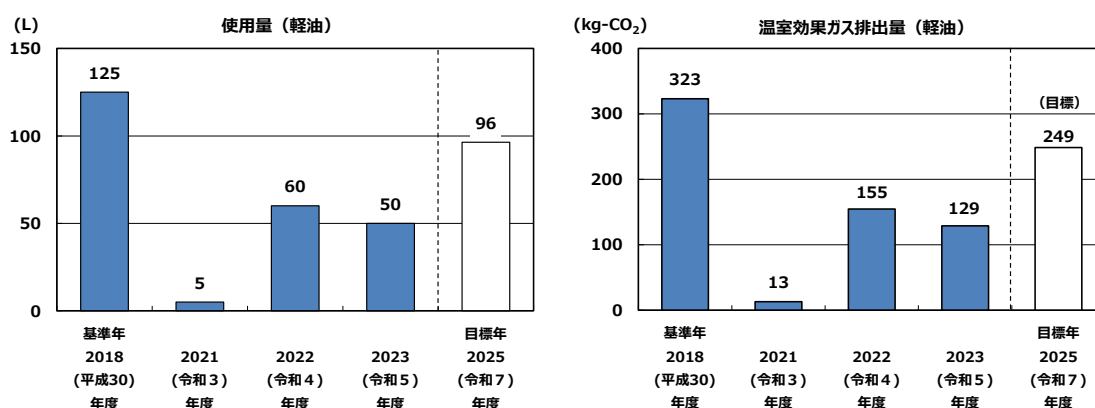


図6 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ 灯油の使用量

2023（令和5）年度の灯油の使用量は54,825Lであり、基準年の16,427Lと比較すると38,398L、割合にして233.7%増加しました。温室効果ガス排出量は136,514kg-CO₂であり、基準年の40,893kg-CO₂と比較して95,621kg-CO₂増加しました。

目標値（12,637L）と比較すると、42,188L（温室効果ガス排出量は105,047kg-CO₂）超過しています。

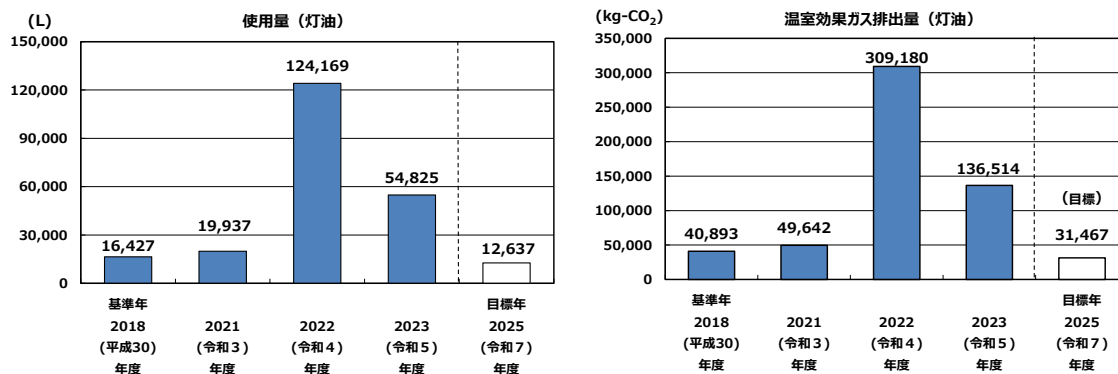


図7 使用量及び温室効果ガス排出量【灯油】

④ A重油の使用量

2023（令和5）年度のA重油の使用量は35,661Lであり、基準年の37,836Lと比較すると2,175L、割合にして5.7%減少しました。温室効果ガス排出量は96,641kg-CO₂であり、基準年の102,521kg-CO₂と比較して5,880kg-CO₂減少しました。

目標値（29,110L）と比較すると、6,551L（温室効果ガス排出量は17,753kg-CO₂）超過しています。

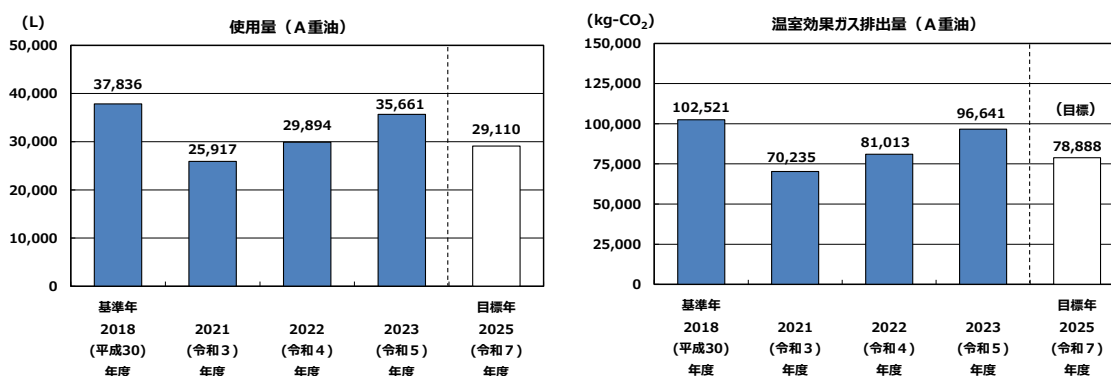


図8 使用量及び温室効果ガス排出量【A重油】

⑤ LP ガスの使用量

2023（令和5）年度のLPガスの使用量は17,859kgであり、基準年の31,615kgと比較すると13,756kg、割合にして43.5%減少しました。温室効果ガス排出量は53,577kg-CO₂であり、基準年の94,845kg-CO₂と比較して41,268kg-CO₂減少しました。

目標値（24,327kg）と比較すると、6,468kg（温室効果ガス排出量は19,405kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

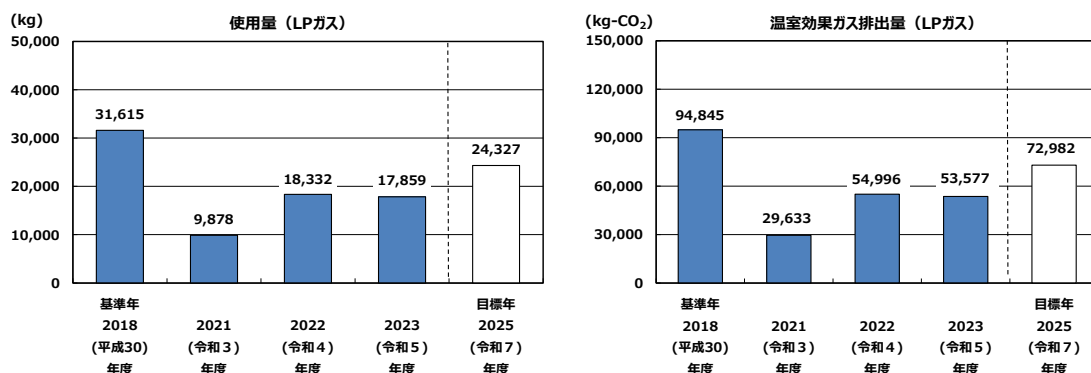


図9 使用量及び温室効果ガス排出量【LPガス】

⑥ 都市ガスの使用量

2023（令和5）年度の都市ガスの使用量は904,335 m³であり、基準年の865,975 m³と比較すると38,360 m³、割合にして4.4%増加しました。温室効果ガス排出量は1,853,887kg-CO₂であり、基準年の1,934,622kg-CO₂と比較して80,735kg-CO₂減少しました。

目標値（667,563 m³）と比較すると、236,772 m³（温室効果ガス排出量は365,222kg-CO₂）超過しています。

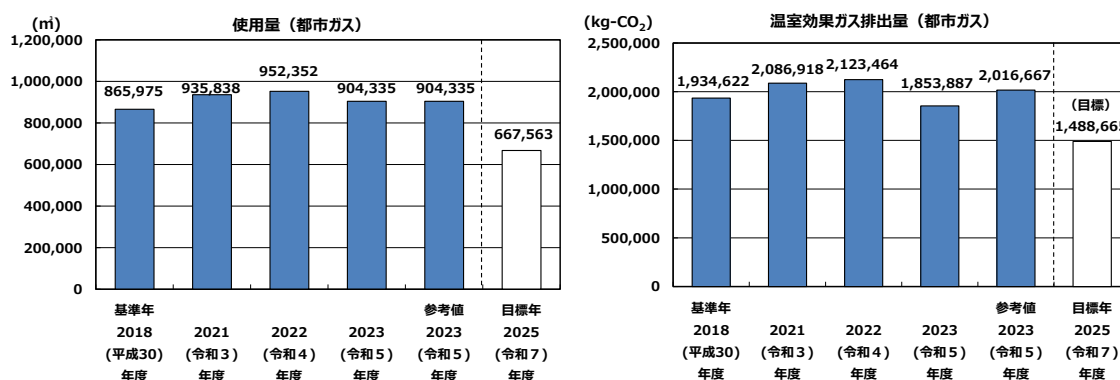


図10 使用量及び温室効果ガス排出量【都市ガス】

(2) 自動車利用に伴う燃料

自動車利用に伴う燃料使用量は、項目ごとに二酸化炭素排出量に換算し、その値の合計値において基準値より 23%削減することを目指しています。

2023（令和5）年度における温室効果ガス排出量は 317,762kg-CO₂ であり、基準年度の 320,181kg-CO₂ と比較して 2,419kg-CO₂ 減少しましたが、目標としている 23%の削減には至りませんでした。

2023（令和5）年度における燃料別の温室効果ガス排出割合は、ガソリンが 79.8%を占めており、軽油が 15.5%、LP ガスが 4.7%となりました。

表5 使用量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ガソリン	23%削減	L	110,384 (226,933)	93,580 (217,106)	103,190 (239,402)	109,268 (253,502)	-1.0% (11.7%)	75,154 (174,356)
軽油	23%削減	L	22,215 (56,383)	20,237 (52,211)	20,854 (53,803)	19,108 (49,299)	-14.0% -(12.6%)	16,791 (43,320)
LPガス	23%削減	kg	12,288 (36,865)	4,465 (13,396)	3,926 (11,777)	4,987 (14,961)	-59.4% -(59.4%)	9,441 (28,324)
温室効果ガス 排出量	23%削減	kg-CO ₂	320,181	282,713	304,981	317,762	-0.8%	246,000

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂) です。
 3 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

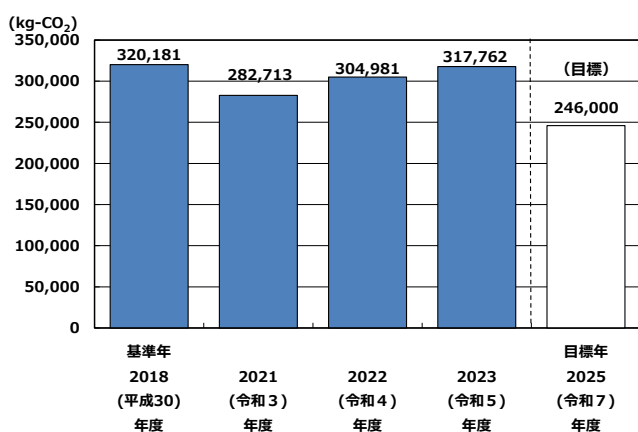


図11 温室効果ガス排出量の状況

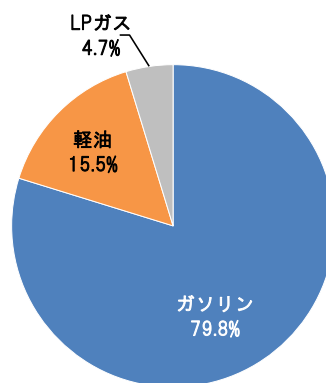


図12 温室効果ガス排出割合の状況

① ガソリンの使用量

2023（令和5）年度のガソリンの使用量は109,268Lであり、基準年の110,384Lと比較すると1,116L、割合にして1.0%減少しました。温室効果ガス排出量は253,502kg-CO₂であり、基準年の226,933kg-CO₂と比較して26,569kg-CO₂増加しました。

目標値（75,154L）と比較すると、34,114L（温室効果ガス排出量は79,146kg-CO₂）超過しています。

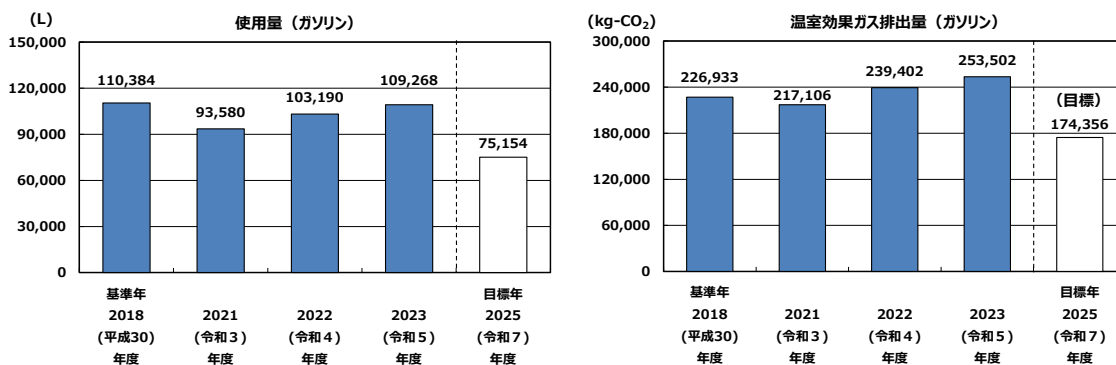


図13 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

② 軽油の使用量

2023（令和5）年度の軽油の使用量は19,108Lであり、基準年の22,215Lと比較すると3,107L、割合にして14.0%減少しました。温室効果ガス排出量は49,299kg-CO₂であり、基準年の56,383kg-CO₂と比較して7,084kg-CO₂減少しました。

目標値（16,791L）と比較すると、2,317L（温室効果ガス排出量は5,979kg-CO₂）超過しています。

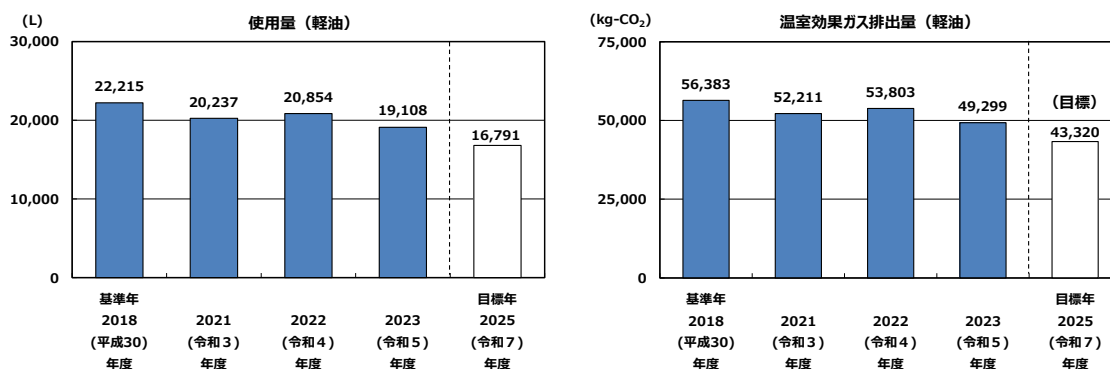


図14 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ LP ガスの使用量

2023（令和5）年度のLPガスの使用量は4,987kgであり、基準年の6,171kgと比較すると7,301kg、割合にして59.4%減少しました。温室効果ガス排出量は14,961kg-CO₂であり、基準年の36,865kg-CO₂と比較して21,904kg-CO₂減少しました。

目標値（9,441kg）と比較すると、4,454kg（温室効果ガス排出量は13,363kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

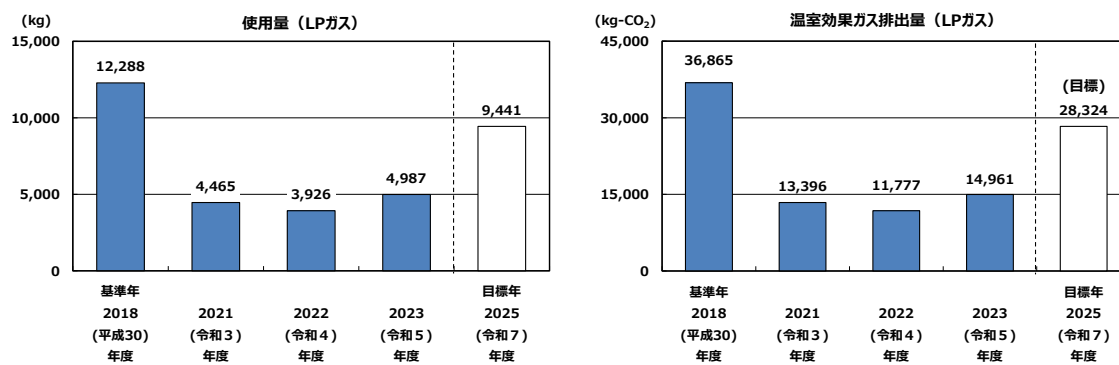


図 15 使用量及び温室効果ガス排出量【LP ガス】

(3) 電気使用量

2023（令和5）年度の電気使用量は13,531,288kWhであり、基準年の15,930,184kWhと比較すると2,398,896kWh、割合にして15.1%減少しました。温室効果ガス排出量は6,218,758kg-CO₂であり、基準年の8,002,098kg-CO₂と比較して1,783,340kg-CO₂減少しました。

目標値（12,263,026kWh）と比較すると、1,268,262kWh（温室効果ガス排出量は58,758kg-CO₂）超過しています。

表6 使用量及び温室効果ガス排出量【電気使用量】

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
電気使用量	23%削減	kWh	15,930,184 (8,002,098)	16,784,570 (7,474,805)	15,708,830 (7,063,569)	13,531,288 (6,218,758)	-15.1% -(22.3%)	12,263,026 (6,160,000)

備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。

2 電気の使用による温室効果ガス排出量は、各電気事業者別の排出係数により算定しています。

また、排出係数は、各年度の算定時に把握できる最新のものを使っています。

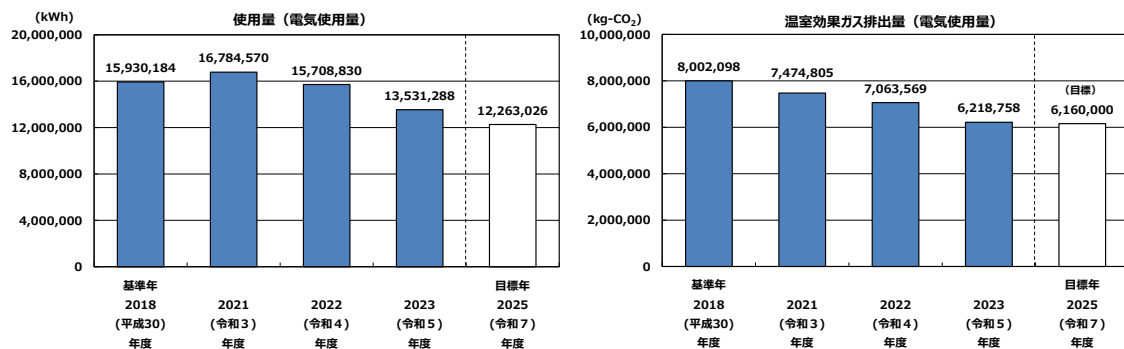


図16 使用量及び温室効果ガス排出量【電気使用量】

(4) 一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理

一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理に伴う温室効果ガス排出量は、基準年より4%削減することを目指しています。

2023（令和5）年度の一般廃棄物焼却量は29,030 tであり、基準年の28,498 tと比較すると532 t、割合にして1.9%増加しました。温室効果ガスは、17,071,635kg-CO₂であり、基準年の15,434,947kg-CO₂と比較して1,636,688kg-CO₂増加しました。

廃プラスチック焼却量は6,181 tであり、基準年の5,555 tと比較すると626 t、割合にして11.3%増加しました。温室効果ガスは、16,634,681kg-CO₂であり、基準年の14,952,751kg-CO₂と比較して、1,681,930kg-CO₂増加しました。

目標値（27,358 t）と比較すると、1,672 t（温室効果ガス排出量は2,254,086kg-CO₂）超過しています。

表7 一般廃棄物焼却量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	参考値 2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
一般廃棄物焼却量	4%削減	t	28,498 (15,434,947)	29,538 (16,176,449)	26,749 (14,301,030)	29,030 (17,071,635)	29,030 (17,125,869)	1.9% (10.6%)	27,358 (14,817,549)
剪定枝木・脱水ケーキ量		t	2,823	2,620	2,969	469	469	-83.4%	-
廃プラスチック以外焼却量		t	22,943 (482,196)	23,714 (499,793)	22,445 (452,599)	22,849 (436,954)	22,849 (491,189)	-0.4% (-9.4%)	22,025 (462,908)
廃プラスチック焼却量	4%削減	t	5,555 (14,952,751)	5,824 (15,676,656)	5,145 (13,848,431)	6,181 (16,634,681)	6,181 (16,634,681)	11.3% (11.2%)	5,333 (14,354,641)
し尿処理	4%削減	t	(329,705)	(323,449)	(323,160)	(315,845)	(322,465)	-(4.2%)	(317,000)

- 備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。
 2 廃プラスチック焼却量の廃プラ率は、18.1%で固定しています。
 3 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。
 4 参考値は、法改正前の地球温暖化係数等を用いて算定した数値です。

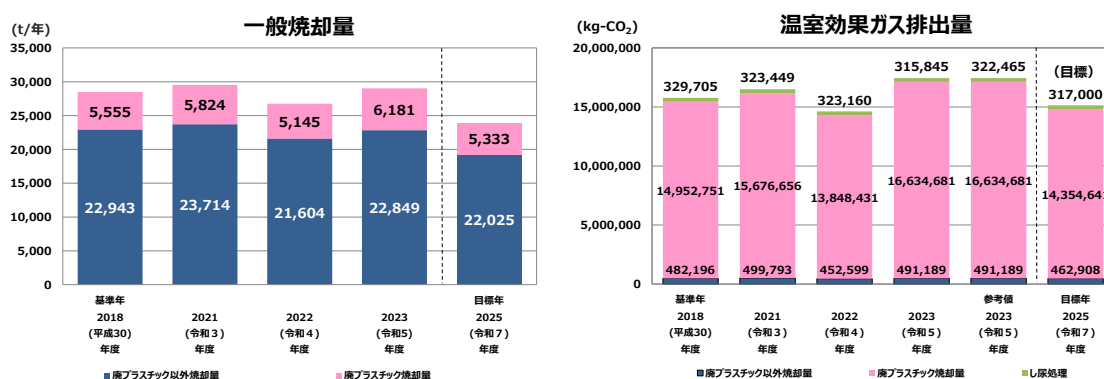


図17 焼却量及び温室効果ガス排出量

3 施設別の温室効果ガス排出量の状況

「あびこエコ・プロジェクト5 改定版」では、電気・燃料等に係る温室効果ガスの削減目標（23%削減）を、施設ごとに一律にあてはめた参考値を設定し、全体の目標達成に向けた進捗状況を把握しています。

2023（令和5）年度においても、我孫子市ではクリーンセンターの事業活動（ごみの焼却）に伴う温室効果ガス排出量が全体の6割強を占めています。

表8 施設別の温室効果ガス排出量

区 分	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	参考値 2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%
市役所庁舎(本庁舎、東別館、西別館、分館)	1,668	1,585	1,074	1,565	1,574	-6.2%
市役所庁舎(本庁舎)	359	398	366	361	366	0.6%
市役所庁舎(東別館)	1,106	938	472	954	954	-13.7%
市役所庁舎(西別館)	181	230	217	226	230	24.9%
市役所庁舎(分館)	22	19	20	24	24	9.1%
水の館	378	296	152	280	285	-25.9%
行政サービスセンター	32	146	84	82	82	156.3%
コミュニティ施設	574	396	424	396	405	-31.0%
福祉施設	411	314	378	404	414	-1.7%
保育園	121	125	121	114	118	-5.8%
クリーンセンター	17,447	18,088	16,672	17,766	17,827	1.8%
消防本部	324	272	295	285	291	-12.0%
水道局	1,815	1,817	1,844	1,666	1,673	-8.2%
教育委員会	888	755	768	715	730	-19.5%
学校	2,615	2,713	2,763	2,803	2,901	7.2%
我孫子市(全体)	26,273	26,506	24,574	26,076	26,300	-0.7%

備考) 1 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

2 参考値は、法改正前の地球温暖化係数等を用いて算定した数値です。

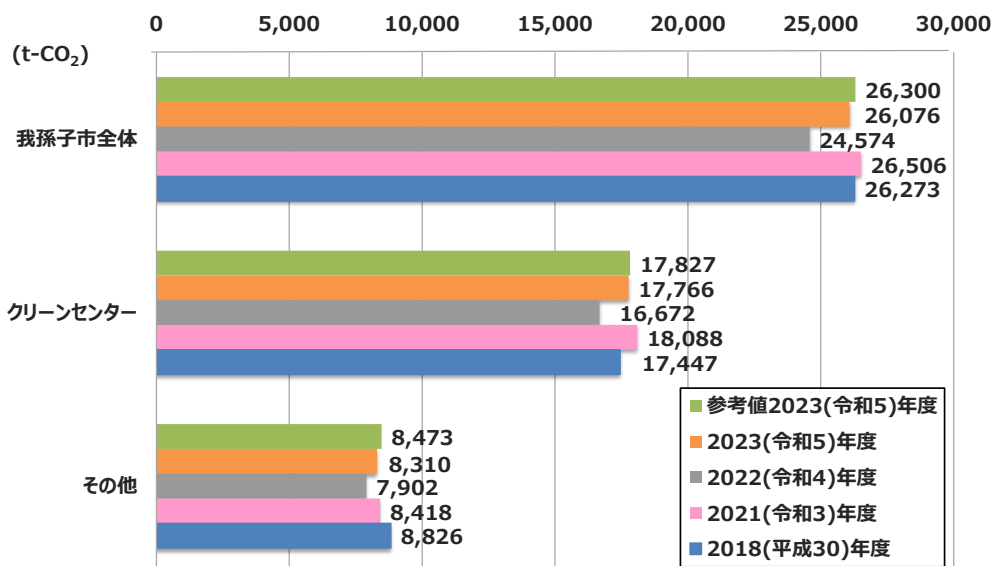


図18 市全体の温室効果ガス排出量比較

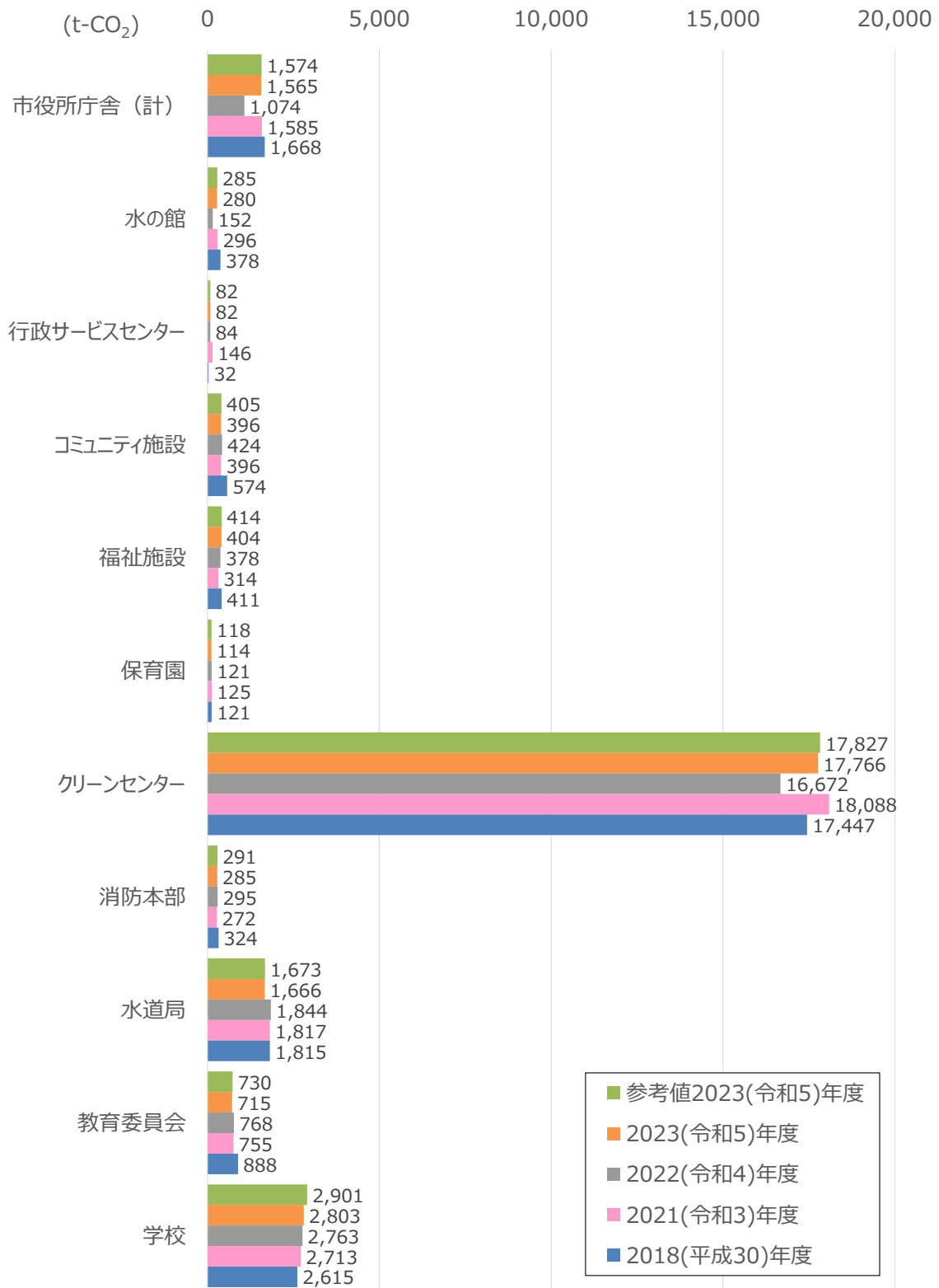


図 19 各施設別温室効果ガス排出量

4 使用量の状況

2023（令和5）年度の個別項目別の使用量については表のとおりです。

(1) 施設及び自動車における燃料使用量

表9 施設及び自動車における燃料使用量の状況

区分	施設における燃料使用量						自動車における燃料使用量					
	ガソリン		灯油	A重油	LPG	都市ガス	施設内			施設外		
	L	L	L	L	kg	m ³	L	L	kg	L	L	kg
市役所庁舎	15	50	76	2,240	12,254	52,298	956	0	0	36,139	1,888	4,672
本庁舎	15	50	58	0	0	26,693	956	0	0	8,008		0
東別館	0	0	18	2,240	36	0	0	0	0	14,467	1,888	4,672
西別館	0	0	0	0	12,218	22,986	0	0	0	11,145	0	0
分館	0	0	0	0	0	2,619	0	0	0	2,520	0	0
水の館	15	0	0	0	0	24,628	0	0	0	3,545	0	0
行政サービスセンター	0	0	392	0	0	16	0	0	0	0	0	0
コミュニティ施設	0	0	0	0	0	49,750	0	0	0	0	0	0
福祉施設	0	0	0	33,421	29	54,417	0	0	0	18,217	215	0
保育園	0	0	0	0	0	18,383	0	0	0	287	0	0
クリーンセンター	0	0	46,015	0	1,365	0	0	2,815	0	1,022	1,612	316
消防本部	0	0	1,350	0	3,385	29,504	0	0	0	38,695	10,744	0
水道局	0	0	2,150	0	94	40,898	0	0	0	1,413	0	0
教育委員会	0	0	286	0	733	85,894	0	0	0	8,994	1,833	0
学校	205	0	4,556	0	0	548,547	0	0	0	0	0	0
我孫子市(全体)	235	50	54,825	35,661	17,859	904,335	956	2,815	0	108,312	16,293	4,987

備考) 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

(2) 電気使用量

表10 電気使用量の状況

区分	電気の使用量									
	東京電力 エナジー パートナー	丸紅 新電力	東京電力 パワー グリッド	ミツウロ グリーン エネルギー	生活クラブ エナジー	サミット エナジー	リエスパワー ネクスト	V-Power	日立造船	シン・ エナジー
kWh										
市役所庁舎	1,485,147	0	1,277,154	30,469	7,886	78,933	0	40,685	0	14,213
本庁舎	4,519	0	644,818	0	0	0	0	0	0	0
東別館	1,344,863	0	536,895	30,469	0	78,933	0	0	0	0
西別館	123,621	0	95,441	0	7,886	0	0	40,685	0	0
分館	12,143	0	0	0	0	0	0	0	0	14,213
水の館	333,070	135,103	0	0	0	0	0	0	0	0
行政サービスセンター	164,979	11,840	0	0	0	0	0	0	0	0
コミュニティ施設	9,282	98,291	269,053	232,993	0	0	0	106,454	0	0
福祉施設	38,017	98,186	207,001	0	0	0	0	0	0	0
保育園	88,609	30,533	45,640	0	0	0	0	0	0	0
クリーンセンター	370,464	53,925	79,458	0	0	0	0	0	70,680	0
消防本部	199,901	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水道局	0	0	3,591,126	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会	155,730	265,911	271,508	86,141	0	0	309,238	0	0	0
学校	0	3,273,668	0	0	0	0	0	0	0	0
我孫子市(全体)	2,845,199	3,967,457	5,740,940	349,603	7,886	78,933	309,238	147,139	70,680	14,213

備考) 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

環境への負荷の低減

～ 環境保全のための率先行動計画の推進 ～

環境負荷低減のための達成目標は、直接温室効果ガス排出量の算定に反映されませんが、市の事務・事業によって生じる環境への負荷を可能な限り減らしていくために、設定しています。

本市の活動は、「自動車の利用」「施設の利用」「工事の実施」「自然の利用」に大きく分けることができます。これらの活動によって、下の図に示すような環境への負荷が生じることになります。

それぞれの区分の活動によって生じる環境への負荷に対して、負荷量の削減に資する指標を抽出し、達成目標を設定することで、取り組みを推進します。

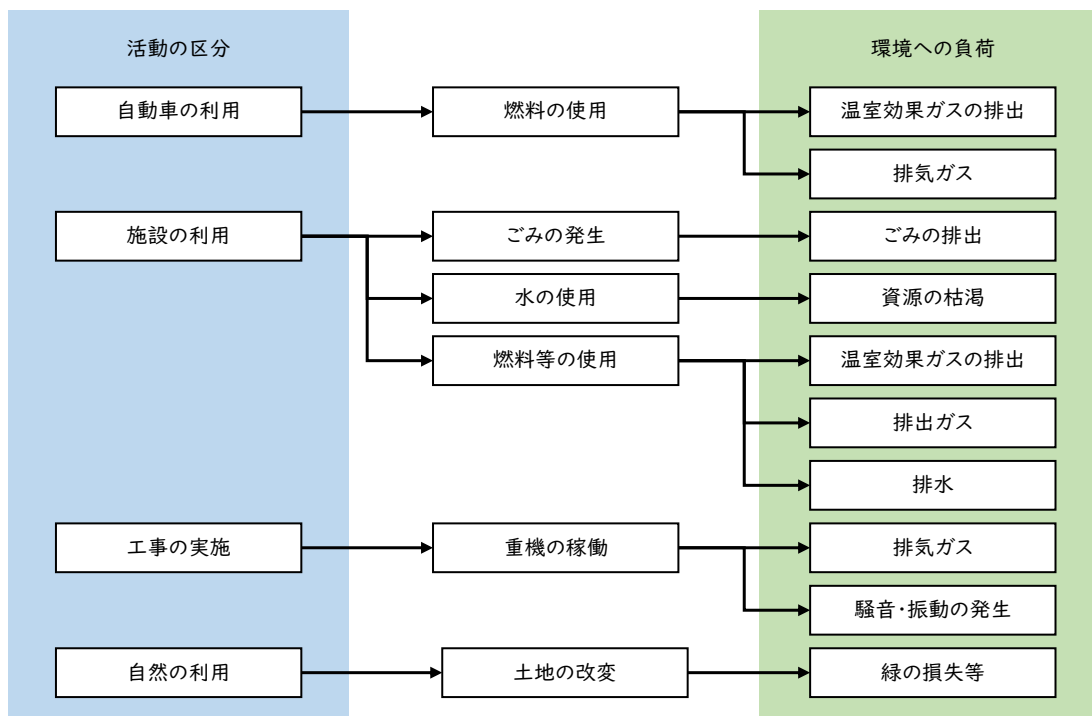


図 20 市の活動によって生じる環境への負荷

※廃棄物に関して目標を定めるのは市役所庁舎のみ。廃棄物は「可燃ごみ」を対象とし、資源物は除外。

1 市の事務事業（自動車の利用）

(1) 排気ガスによる負荷の低減に係る状況

① 低公害車割合

低公害車割合は、目標年の2025（令和7）年度までに6ポイントの増加を目指しています。

2023（令和5）年度の低公害車割合は52.5%で、基準年度である2018（平成30）年度の48.9%と比較して、3.6ポイント（増減率では7.4%）の増加となりました。

目標達成のためには、あと2.3ポイントの増加が必要です。

表 11 低公害車割合の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
低公害車割合	6ポイント増加	%	48.9	51.8	51.4	52.5	7.4%	54.8

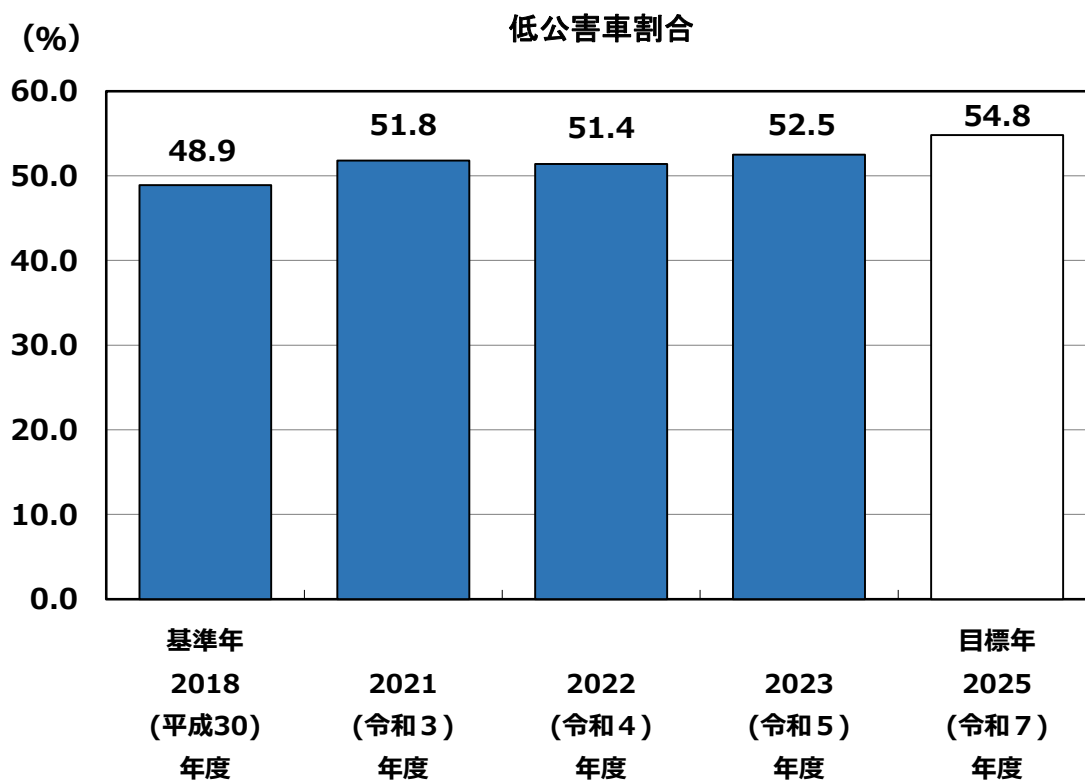


図 21 低公害車割合の状況

2 市の事務事業（施設の利用）

(1) ごみの減量・リサイクルの推進に係る状況

① 用紙購入量

用紙購入量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2023（令和5）年度の用紙購入量は、18,252,186枚であり、基準年である2018（平成30）年度の20,274,465枚と比較して2,022,279枚（増減率では10.0%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、5.2%（1,008,556枚）超過削減されており、目標を達成しています。

2023（令和5）年度の用紙購入量は、行政管理課が約274万枚で最も多く、次いで我孫子中学校が約85万枚、我孫子第四小学校が約79万枚となっています。

表 12 用紙購入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
用紙購入量	5%削減	枚	20,274,465	21,407,190	22,939,079	18,252,186	-10.0%	19,260,742

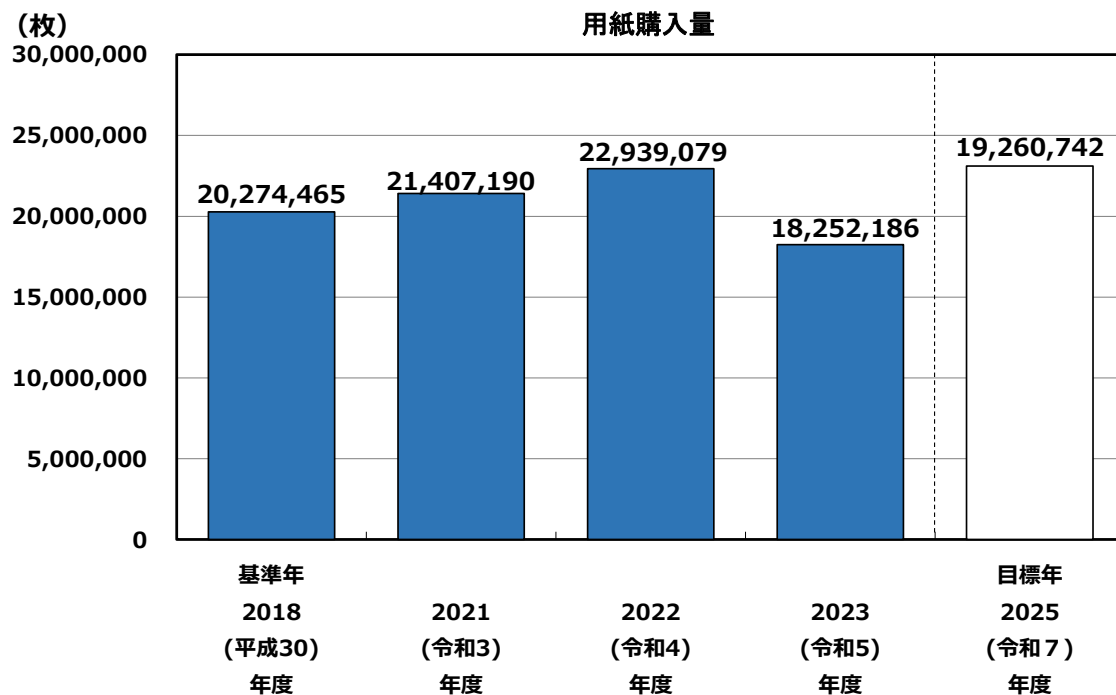


図 22 用紙購入量の状況

② 1人あたり用紙購入量

1人あたり用紙購入量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2023（令和5）年度の1人あたり用紙購入量は、13,056枚であり、基準年である2018（平成30）年度の15,877枚と比較して2,821枚（増減率では17.8%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約13.4%（2,027枚）超過削減されており、目標を達成しています。

表13 1人あたり用紙購入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
用紙購入量	5%削減	枚	15,877	16,467	17,391	13,056	-17.8%	15,083

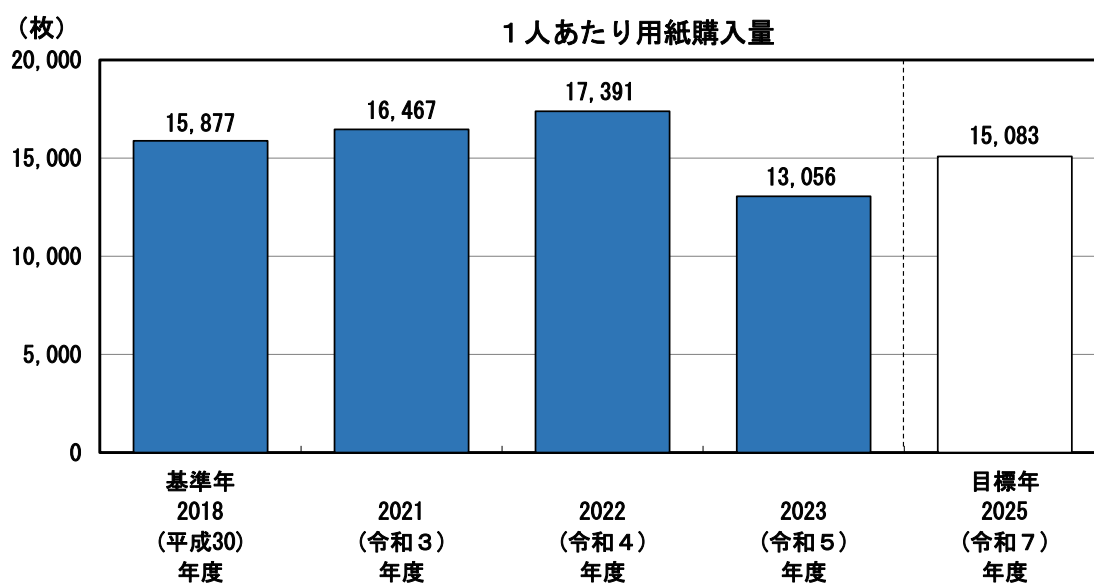


図23 1人あたり用紙購入量の状況

③ 廃棄物発生量

市役所庁舎等における廃棄物発生量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2023（令和5）年度の廃棄物発生量は3,954kgであり、基準年である2018（平成30）年度の4,506kgと比較して、552kg（増減率では12.3%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約7.6%（327kg）超過削減されており、目標を達成しています。

表 14 廃棄物発生量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
廃棄物発生量 [※]	5%削減	kg	4,506	3,127	3,955	3,954	-12.3%	4,281

※廃棄物に関して目標を定めるのは市役所庁舎のみ。廃棄物は「可燃ごみ」を対象とし、資源物は除外。

廃棄物発生量（年間推定値）＝一定期間の廃棄物発生量（1週間の平均値）×52（週/年）

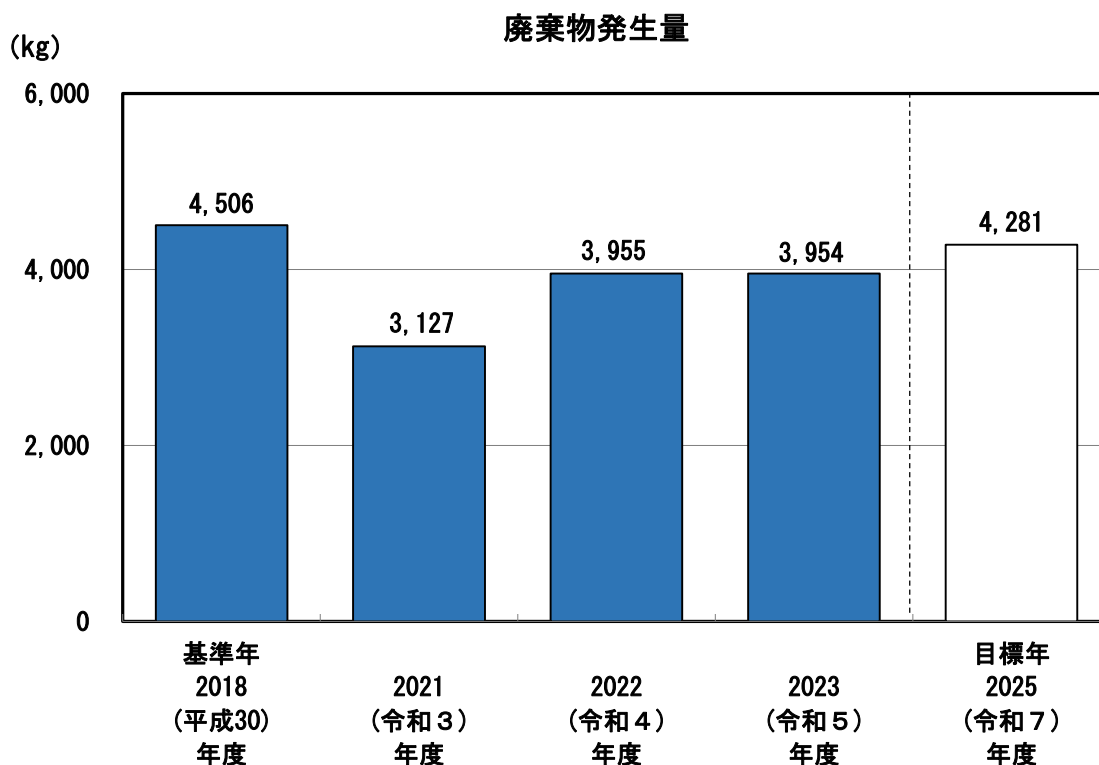


図 24 廃棄物発生量の状況

(2) 水の適正な利用に係る状況

① 水道使用量

水道使用量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2023（令和5）年度の水道使用量は合計207,813 m³であり、基準年である2018（平成30）年度の242,744 m³と比較すると、34,931 m³（増減率では14.4%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、9.9%（22,794 m³）超過削減となり、目標を達成しています。

2023（令和5）年度の水道使用量の内訳は、学校が142,124 m³、学校以外が65,689 m³であり、学校が全体の約68%を占めています。

表 15 水道使用量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
水道使用量	5%削減	m ³	242,744	194,743	198,936	207,813	-14.4%	230,607
学校	—	m ³	169,187	144,328	148,299	142,124	-16.0%	—
学校以外	—	m ³	73,557	50,415	50,637	65,689	-10.7%	—

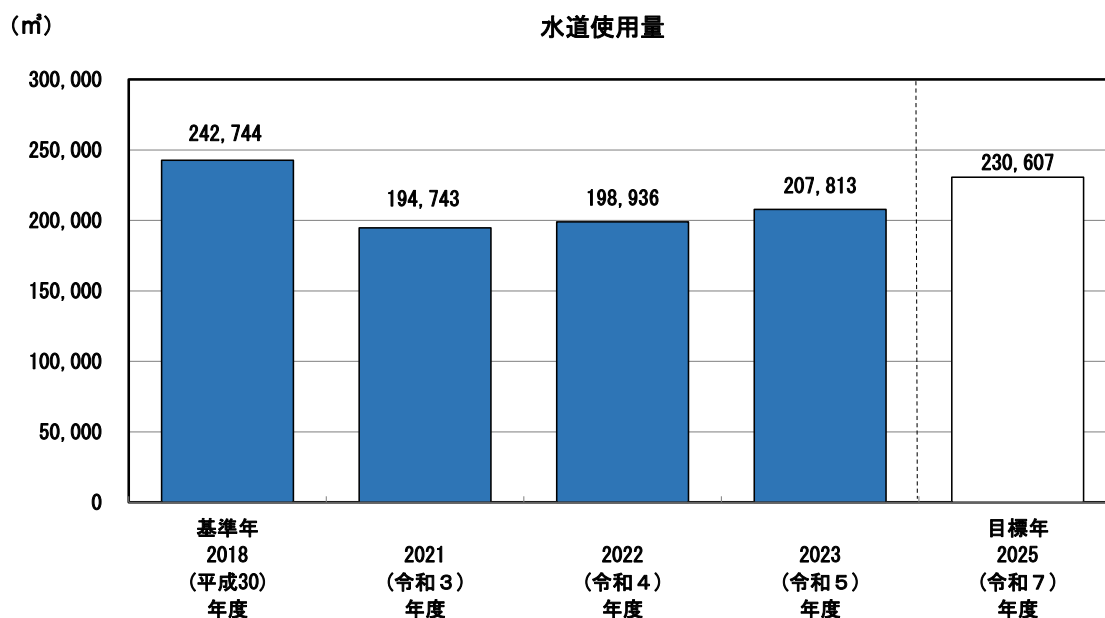


図 25 水道使用量の状況

(3) 再生可能エネルギー導入に係る状況

① 再生可能エネルギー導入量

再生可能エネルギー導入量は、目標年の2025（令和7）年度までに2,020kWの増加を目指しています。

2023（令和5）年度の再生可能エネルギー導入量は2,090kWであり、基準年である2018（平成30）年度の100kWと比較して1,990kW（増減率では1,990.0%）の増加となりました。

目標達成のためには、あと30kWの導入が必要です。

表 16 再生可能エネルギー導入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
再生可能エネルギー導入量	2,020kW 増加	kW	100	100	100	2,090	1990.0%	2,120

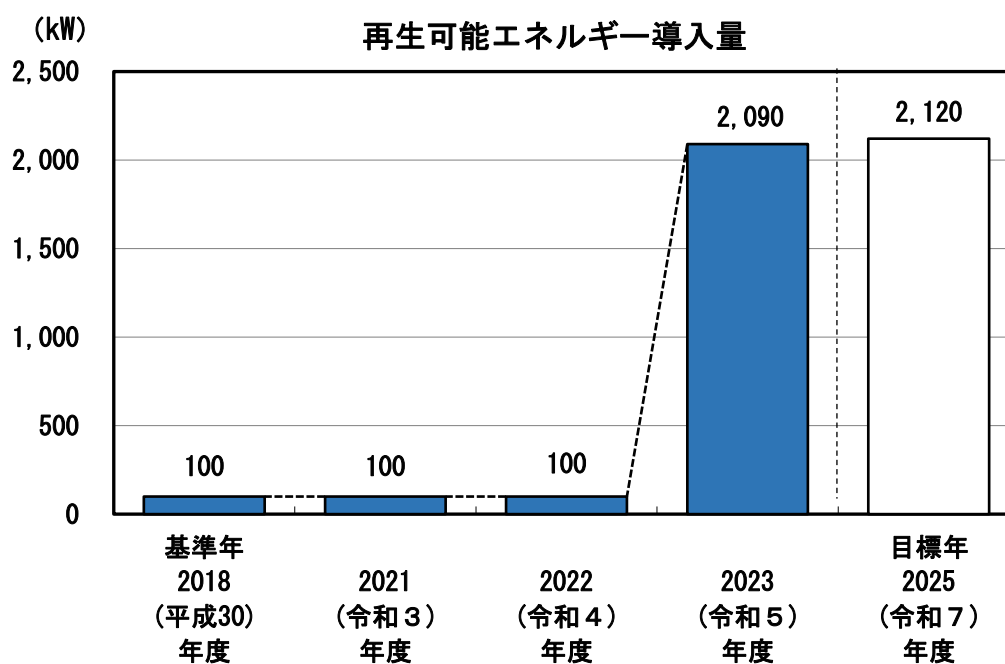


図 26 再生可能エネルギー導入量の状況

3 自然の利用

(1) 緑の損失等による影響の低減（生き物との共存）に係る状況

① 市内の緑の確保量

市内の緑の確保量は、目標年の2025（令和7）年度までに8haの増加を目指しています。

2023（令和5）年度の市内の緑の確保量は1,608haであり、基準年である2018（平成30）年度の1,609haと比較して1ha（増減率では0.1%）の減少となりました。

目標達成のためには、あと9haの確保が必要です。

表 17 市内の緑の確保量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
市内の 緑の確保量	8ha増加	ha	1,609	1,612	1,609	1,608	-0.1%	1,617

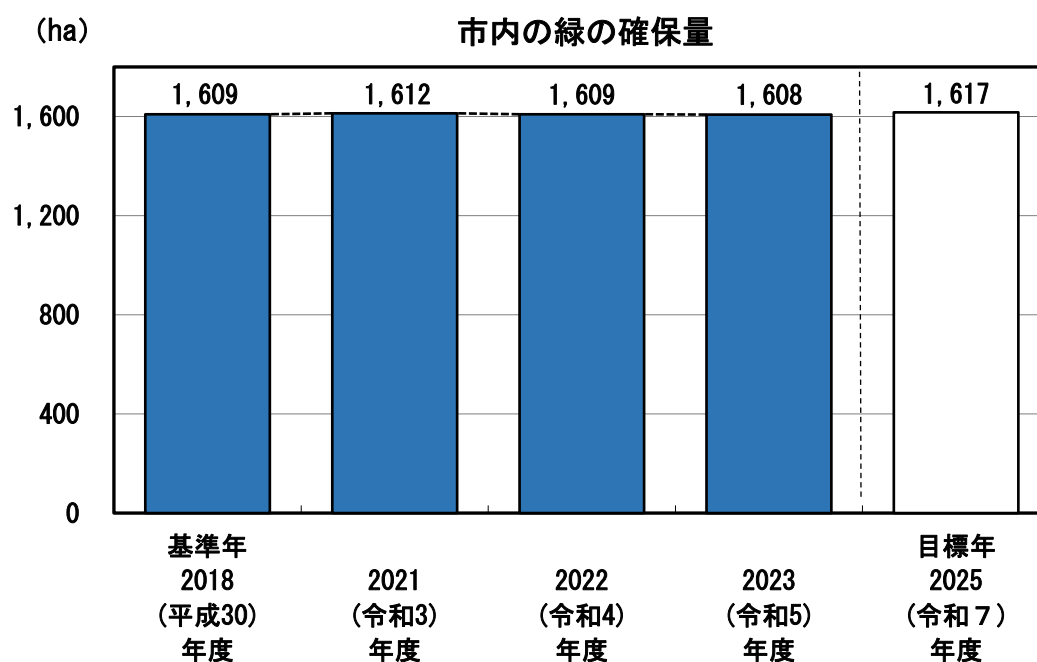


図 27 市内の緑の確保量の状況

② 都市公園面積

都市公園面積は、目標年の2025（令和7）年度までに8haの増加を目指しています。

2023（令和5）年度の都市公園面積は150haであり、基準年である2018（平成30）年度の150haと比較して増減はありませんでした。

目標達成のためには、あと8haの増加が必要です。

表 18 都市公園面積の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
都市公園面積	8ha増加	ha	150	150	150	150	0.0%	158

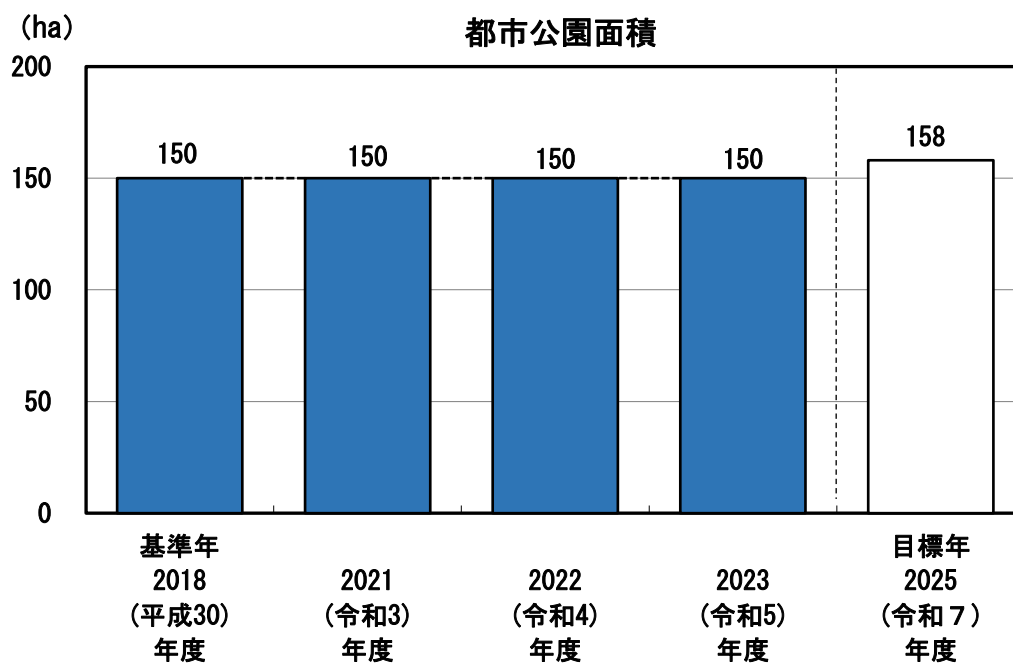


図 28 都市公園面積の状況

市民・事業者の環境に配慮した行動の促進

～「市民・事業者への環境配慮指針」の普及～

「市民・事業者への環境配慮指針」の普及度は、『ごみの焼却量』、『補助事業の交付状況』で測っています。

また、本市の職員は、「市民・事業者への環境配慮指針」に定めた行動を進んで実践し、市民の模範となることにより、市民・事業者の環境に配慮した行動の促進を図ることが必要です。このため『ノーカーデー実施率』について目標を設定し、目標の達成に向けて努力するものとしています。

1 一般廃棄物焼却量

4%削減する

2018（平成30）年度 28,498 トンを 2025（令和7）年度に 27,358 トンとする

2 補助事業の交付状況

表 19 補助事業の交付状況

項目		目標 (増加量)	基準年 2018(平成30) 年度	目標年 2025(令和7) 年度
生ごみ 処理機	コンポスト容器 ぼかし容器	176基	13,303基	13,620基
	機械式生ごみ処理機	141基		
	計	317基		
太陽光発電システム		500件	1,314件	1,814件
省エネルギーシステム		340件	174件	514件
雨水貯留タンク		91施設	619施設	710施設
高度処理型合併処理浄化槽		245基	496基	741基

備考) 基準年、目標年に示す数値は、延べ数である。

3 市役所庁舎勤務の職員によるノーカーデー実施率

2025（令和7）年度の実施率を 50%とする

1 一般廃棄物焼却量（前掲のとおり）

2 補助事業の交付状況

① 生ごみ処理機

生ごみ処理機に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計317基の増加を目指しています。

2023（令和5）年度までの生ごみ処理機に係る補助件数は、13,534基であり、基準年である2018（平成30）年度の13,303基と比較して231基増加となりました。

目標達成のためには、あと86基の増加が必要です。

表20 生ごみ処理機に係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
コンポスト容器、 ぼかし容器	176	基	11,905	11,996	12,030	12,061	156	12,081
機械式生ごみ 処理機	141	基	1,398	1,435	1,452	1,473	75	1,539
計	317	基	13,303	13,431	13,482	13,534	231	13,620

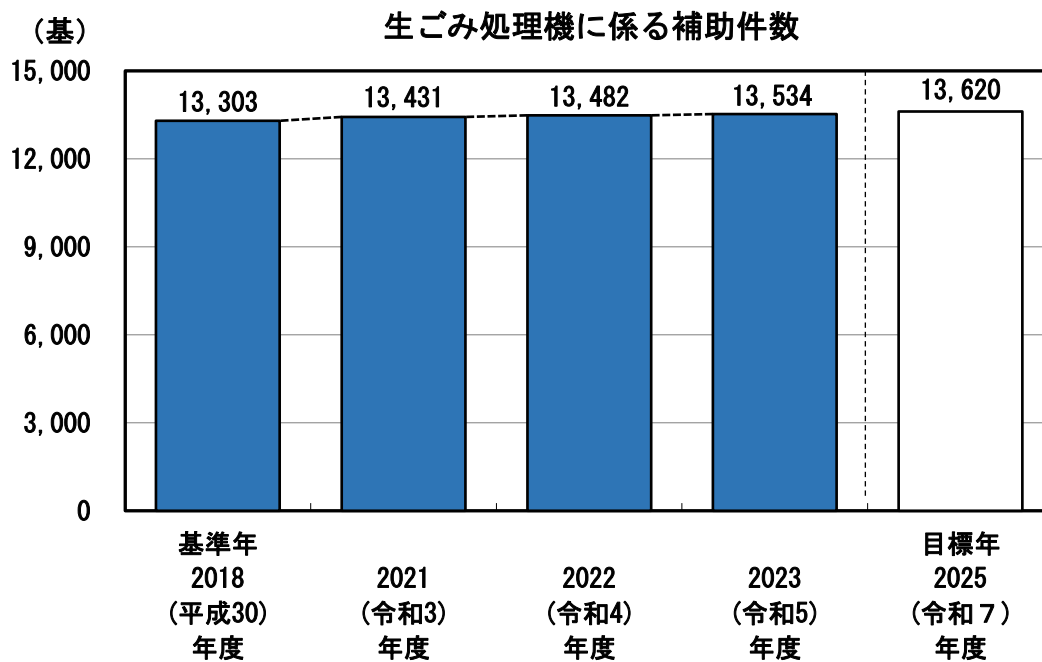


図29 生ごみ処理機に係る補助件数の状況

② 太陽光発電システム

太陽光発電システムに係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに500件の増加を目指しています。

2023（令和5）年度までの太陽光発電システムに係る補助件数は1,498件であり、基準年である2018（平成30）年度の1,314件と比較して184件増加となりました。

目標達成のためには、あと316件の増加が必要です。

表 21 太陽光発電システムに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
太陽光発電システム	500	件	1,314	1,409	1,446	1,498	184	1,814

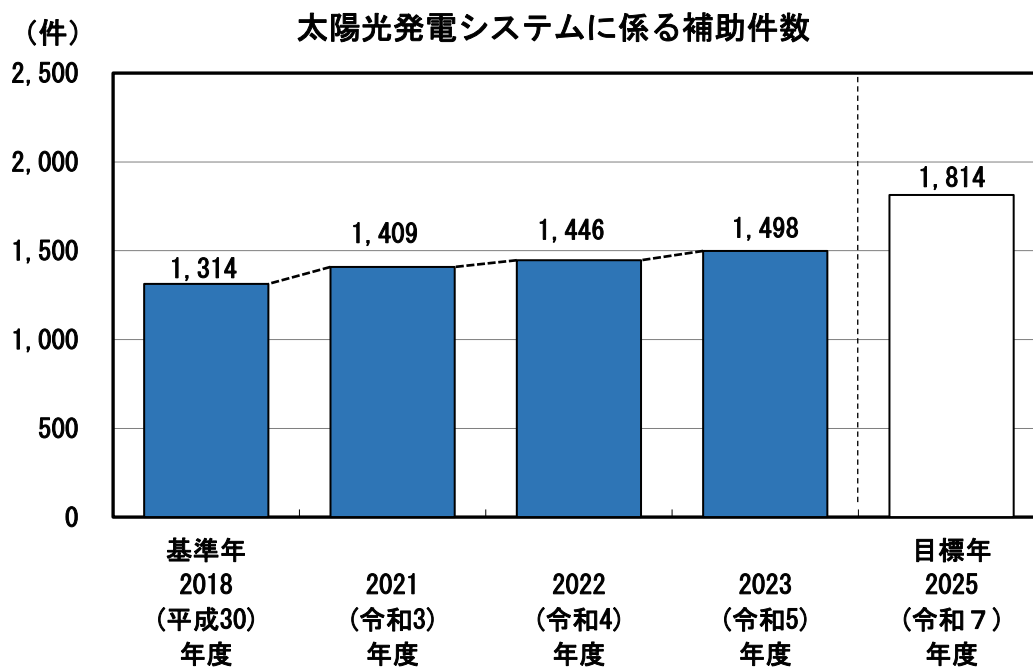


図 30 太陽光発電システムに係る補助件数の状況

③ 省エネルギーシステム

省エネルギーシステム（※蓄電池、エネファーム、断熱窓等）に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに340件の増加を目指しています。

2023（令和5）年度までの省エネルギーシステムに係る補助件数は635件であり、基準年である2018（平成30）年度の174件と比較して461件増加となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約23.5%（121件）超過となり、目標を達成しています。

表 22 省エネルギーシステムに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
省エネルギーシステム	340	件	174	393	492	635	461	514

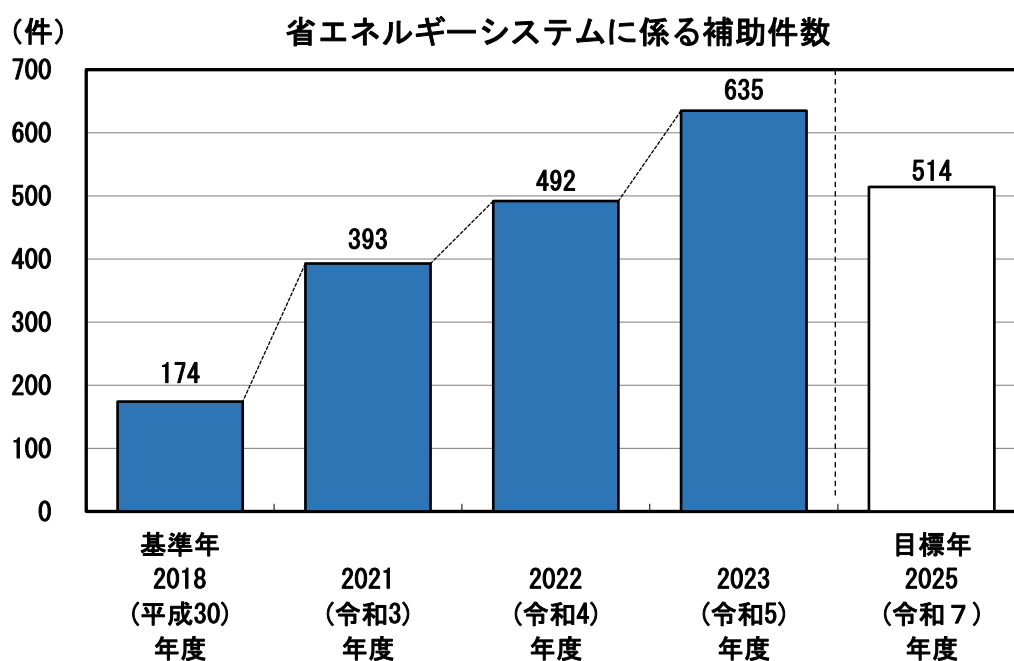


図 31 省エネルギーシステムに係る補助件数の状況

④ 雨水貯留タンク

雨水貯留タンクに係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計91施設の増加を目指しています。

2023（令和5）年度までの雨水貯留タンクに係る補助件数は666施設であり、基準年である2018（平成30）年度の619施設と比較すると47施設増加となりました。

目標達成のためには、あと44施設の増加が必要です。

表 23 雨水貯留タンクに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
雨水貯留タンク	91	施設	619	648	660	666	47	710

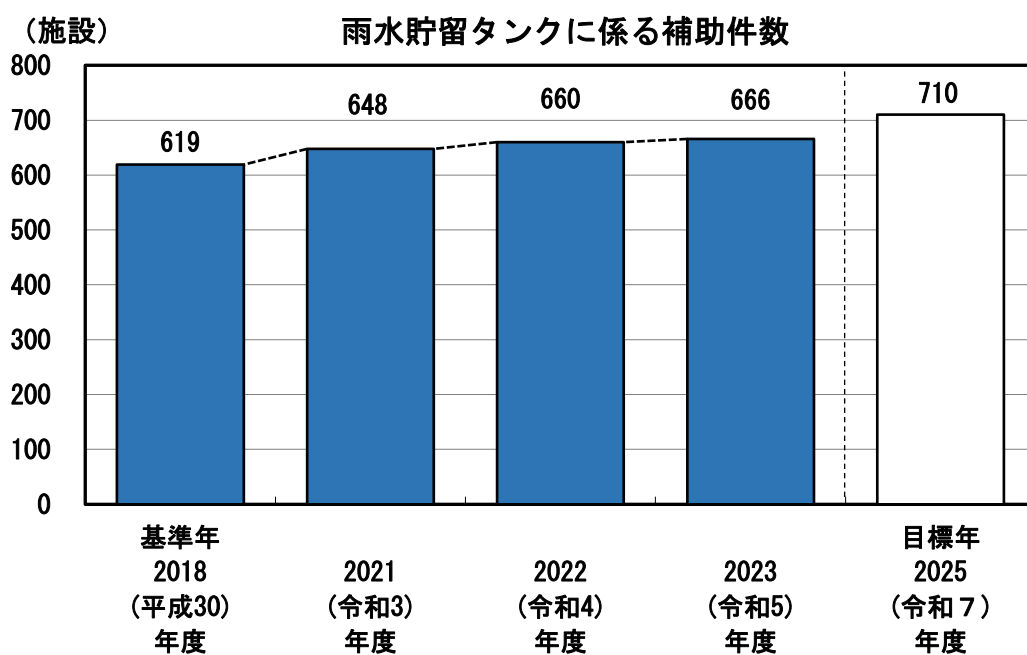


図 32 雨水貯留タンクに係る補助件数の状況

⑤ 高度処理型合併処理浄化槽

高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計245基の増加を目指しています。

2023（令和5）年度までの高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数は620基であり、基準年である2018（平成30）年度の496基に対して124基増加しました。

目標達成のためには、あと121基の増加が必要です。

表 24 高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
高度処理型合併 処理浄化槽	245	基	496	572	595	620	124	741

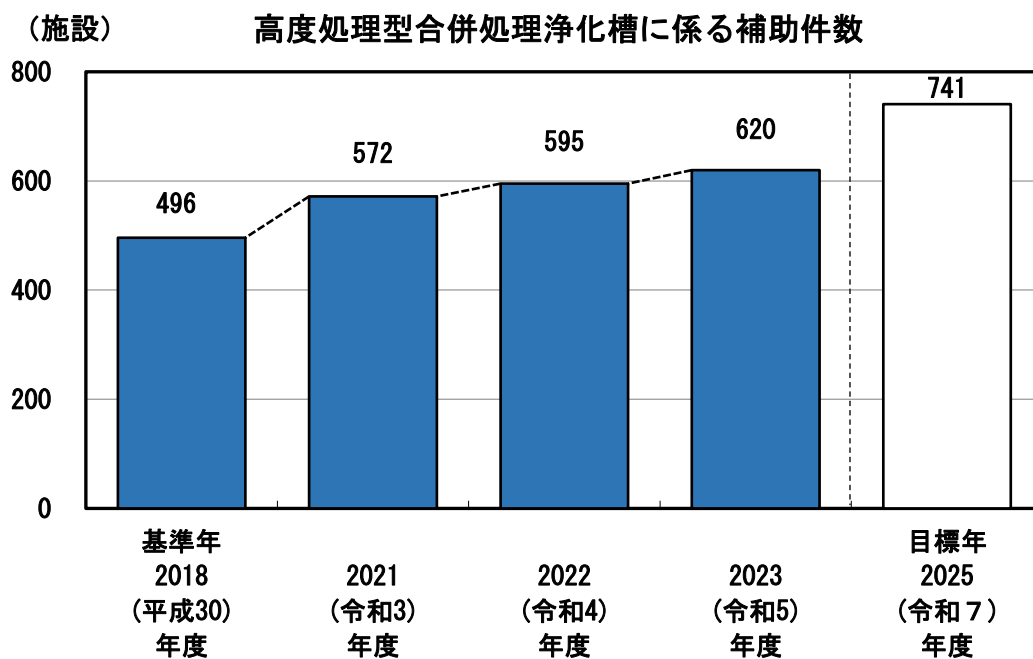


図 33 高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数の状況

3 ノーカーデー実施率

ノーカーデー実施率は、目標年の2025（令和7）年度までに50%（延べ人数、市役所庁舎のみ）を目指しています。

2023（令和5）年度の市役所庁舎でのノーカーデー実施率は37%であり、目標値を13ポイント下回りました。理由としては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を優先したため、公共交通機関の利用を避ける職員が多かったことが挙げられます。

なお、2023（令和5）年度の市役所庁舎外でのノーカーデー実施率は25%、市全体では31%でした。

表 25 ノーカーデー実施率の状況

項目		目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
ノーカーデー 実施率	市役所庁舎	50%	%	59	40	38	37	-22	50
	市役所庁舎外	—	%	38	29	26	25	-13	—
	市全体	—	%	48	34	32	31	-17	—

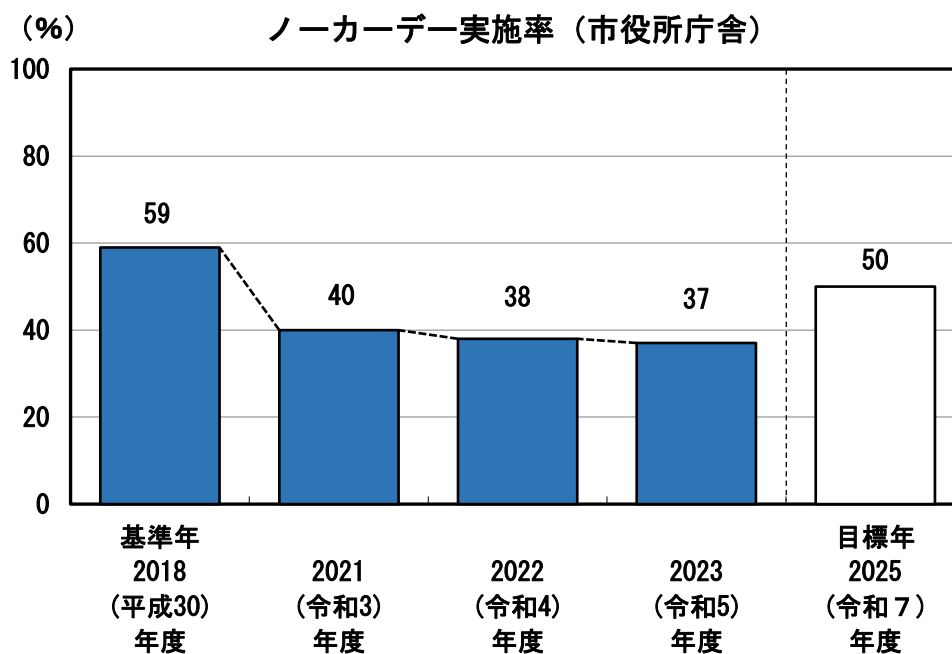


図 34 ノーカーデー実施率の状況（市役所庁舎）